

市町村等における３Ｒ運動に関する取組結果（令和７年度）

市町村等	取組手法	取組項目	令和７年度取組計画	取組結果	アイコン使用
盛岡市	モデリング型	海洋ごみ対策	盛岡市ごみゼロ実践活動in海ごみゼロウィークとして、市内の清掃活動を実施する。	盛岡市ごみゼロ実践活動in海ごみゼロウィークとして、市内の清掃活動を実施した。	
盛岡市	情報発信型	食品ロス対策	10月の食品ロス削減月間に、資源・ごみ分別アプリ等により、食品ロスの削減を呼びかける。小売業者、市民団体及び市の三者による協定に基づく推進を行う。	10月の食品ロス削減月間に、資源・ごみ分別アプリ等により、食品ロスの削減を呼びかけた。	
盛岡市	情報発信型	生ごみ対策	生ごみを排出する前の「ひとしぼり」を呼びかける。	生ごみを排出する前の「ひとしぼり」を呼びかけた。	
盛岡市	コミュニケーション型	生ごみ対策	小学校におけるダンボールコンボストの取組を行う。	市内小学校１校でダンボールコンボストの取組を行った。	
盛岡市	環境整備型	生ごみ対策	市内１か所に設置している大型生ごみ処理機の利用促進を図る。	市内１か所に設置している大型生ごみ処理機の利用の促進を図った。	
盛岡市	情報発信型	リサイクル対策	資源集団回収活動の周知啓発を行う。	資源集団回収活動の周知啓発を継続して行った。	
盛岡市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源集団回収活動の実施団体へ報奨金の交付、ストックヤード設置の補助、資源集団回収優良団体の表彰を行う。	資源集団回収活動の実施団体へ報奨金の交付、ストックヤード設置の補助、資源集団回収優良団体の表彰を行った。	
盛岡市	情報発信型	全般的なごみ対策	市の広報、SNS、資源・ごみ分別アプリ、資源とごみの分け方・出し方カレンダーでごみ減量資源再使用の周知啓発を行う。	市の広報、SNS、資源・ごみ分別アプリ、資源とごみの分け方・出し方カレンダーでごみ減量資源再使用の周知啓発を行った。	
盛岡市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	啓発教室（小学校等）や分別説明会（町内会等）でごみ減量資源再使用の周知啓発を行う。	啓発教室（小学校等）や分別説明会（町内会等）で、ごみ減量資源再使用の周知啓発を行った。	
盛岡市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	環境に配慮したライフスタイルを市民とともに考え、実践につなげるイベントとして「もりおかエコライフイベント」を開催する。	環境に配慮したライフスタイルを市民とともに考え、実践につなげるイベントを開催した。	
盛岡市	モデリング型	全般的なごみ対策	7月の1か月間を集中取組期間とし、盛岡市きれいなまち推進協議会等と盛岡市が一体となり、さまざまな取組を通じエコライフの推進を行う。	7月の1か月間を集中取組期間とし、エコライフの推進を訴えた。	
八幡平市	環境整備型	古着対策	市役所本庁舎及び各総合支所に古着回収ボックスを設置し古着の回収を行うとともに、市清掃センターにおいて拠点回収を行う。	古着回収ボックスに出された古着を福祉バンクに引き渡し、リユースを行った。	
八幡平市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみの集団回収を行った団体に対して報奨金を交付する。	資源ごみの集団回収を行った団体に対して報奨金を交付した。	
八幡平市	環境整備型	小型家電対策	ごみ集積所に排出された燃えないごみ及び市清掃センターへ直接搬入された燃えないごみの中から、小型家電のピックアップ回収を行う。また、市役所本庁舎に小型家電回収ボックスを設置し、使用済み小型家電の回収を行う。	ごみ集積所及び小型家電回収ボックスに出された燃えないごみから小型家電をピックアップし、小型家電のリサイクルを行った。	
八幡平市	環境整備型	リサイクル対策	市清掃センターにおいて拠点回収を行い、羽毛布団のリサイクルを行う。	ごみとして出された羽毛布団を分別し、羽毛布団のリサイクルを行った。	
八幡平市	情報発信型	全般的なごみ対策	広報、HPを活用し、ごみ減量化や資源リサイクルの周知啓発を図る。	広報誌、ホームページを活用し、ごみ減量化やリサイクルの推進について啓発を行った。	
八幡平市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	市民向けにごみの減量化の意識向上を図るための講座を開催する。	市民講座を開催し、ごみ排出量の現状や、ごみ減量の取組などの説明を行い、ごみ減量化の意識向上を図った。	
滝沢市	情報発信型	食品ロス対策	食品ロス削減月間（10月）では、広報やSNS媒体を活用し周知を図り、10月30日の食品ロス削減の日にもSNSで情報発信を行います。年末年始や年度末の宴会シーズンに合わせて、食べ残しを減らすよう周知を図ります。	食品ロス削減の日からは若干時期がずれたが、広報記事で食品ロス削減について情報発信を行った。	
滝沢市	環境整備型	小型家電対策	小型家電の回収ボックスを市内2箇所に設置し、再資源化とごみの減量化を推進します。宅配業者の集荷による小型家電回収の周知啓発を行い、リサイクルを推進します。	小型家電の回収ボックスを設置することで、市民がリサイクルをしやすい環境作りをした。宅配便による小型家電回収の周知啓発を行い、リサイクルを推進した。	
滝沢市	環境整備型	リサイクル対策	資源回収ボックスを市役所敷地内に設置し、再資源化とごみの減量化を推進していきます。	資源回収ボックスを設置し、ごみ減量化・資源化を推進した。	
滝沢市	情報発信型	全般的なごみ対策	ホームページ、広報、回覧等を活用しごみ減量化の周知啓発を図ります。	ホームページ、広報、回覧等を活用し、ごみ減量化の周知啓発を図った。	
滝沢市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	毎年8月に開催される滝祭（滝沢産業まつり）にて、環境課として環境企画展のブースを設置し、その中でごみ減量化・資源化やの展示を行い、市民の意識向上を図ります。	ごみ減量化・資源化等について普及啓発物を用いて意識醸成を図った。また、食品ロス削減を呼びかけるポスターを設置することで周知を図った。	
滝沢市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	家庭ごみ減量化に関する出前講座の企画として座学をとおして家庭ごみの減量化について学び、ごみ減量化及び環境保全についての意識向上を図ります。	出前講座の申し込みはありませんでした。	
滝沢市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	ごみ減量化に関する研修会として滝沢市ごみ減量化推進委員会委員等を対象にごみ減量化をテーマとした研修を実施し、知見向上を図ります。	滝沢市ごみ減量化推進委員会委員等を対象にごみ減量化をテーマとした研修を実施し、知見向上を図った。	
雫石町	環境整備型	古着対策	町内の公共施設（役場・地区公民館４カ所・しずく×CAN）の計６カ所に回収BOXを設置して、古着や古布を回収する。	令和７年度は、1,980kgの古着及び古布を回収した。	
雫石町	情報発信型	全般的なごみ対策	町内の事業者に、ごみの分別による適正排出及び排出抑制を呼び掛ける依頼文書を発送する。	計画していたが、令和７年度に依頼文書は発送しなかった。	
雫石町	インセンティブ型	リサイクル対策	集団資源回収を実施した団体に対して、回収量及び回数に応じた奨励金を町が交付する。	令和７年度は23団体が登録し、延べ85回の集団資源回収が行われ、約305トンが資源化された。	
雫石町	環境整備型	リサイクル対策	町内13カ所に回収BOXを設置して、使用済み食用油を回収する。	令和７年度は、1,461ℓの使用済み食用油を回収した。	
雫石町	環境整備型	小型家電対策	町内6箇所に回収BOXを設置し、小型家電の拠点回収を行うほか、事業者との協定により宅配便による自宅回収事業を実施する。	令和７年度は、拠点回収及び宅配便回収の合計で4,621.1kgの小型家電を回収した。	
雫石町	情報発信型	全般的なごみ対策	ごみの減量・資源化に資する取り組みの紹介、不法投棄抑止の呼びかけ、３Ｒに関する周知記事を町のホームページと併せて、随時掲載する。	「広報しずくいし」の6月号（環境月間）及び10月号（３Ｒ推進月間）に３Ｒ関連記事を掲載したほか、ごみの減量・資源化に資する取り組みの紹介、不法投棄抑止の呼びかけもホームページ掲載と併せて行った。	○
雫石町	フィードバック型	全般的なごみ対策	「広報しずくいし」にごみの排出状況を掲載。	「広報しずくいし」にごみの排出状況を毎月掲載した。	○
岩手町	環境整備型	古着対策	町内の公共施設３施設に設置している古着回収ボックスで古着の再生利用を推進する。	町内３カ所に回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進した。（5,140kg）	
岩手町	情報発信型	生ごみ対策	環境啓発活動を実施する。	生ごみ処理機購入補助金制度の実施、並びにごみ環境啓発活動を回覧等により実施した。	
岩手町	インセンティブ型	生ごみ対策	町公衆衛生連絡協議会を通じて生ごみ処理機購入補助金制度の実施する。	町公衆衛生連絡協議会を通じて生ごみ処理機購入補助金制度を実施した。（11件）	
岩手町	インセンティブ型	リサイクル対策	子供会などを中心に、地域において資源回収実施の団体に補助金を交付する。	地域において資源回収実施団体に補助金を交付した。（７団体）	
岩手町	環境整備型	小型家電対策	小型家電回収拠点を設け、回収・リサイクルを推進する。	小型家電回収拠点を設け、回収・リサイクルを推進した。（996kg）	
岩手町	情報発信型	全般的なごみ対策	町広報誌等により３Ｒ運動をPRする。	町広報誌に資源リサイクル活動のことについて掲載した。	
岩手町	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	自治振興会等の依頼に対し出前講座を実施し、ごみの減量推進や３Ｒ運動についてPRする。	自治振興会等の依頼に対し出前講座を実施し、ごみの減量推進や３Ｒ運動についてPRした。（6団体）	
紫波町	情報発信型	生ごみ対策	段ボールコンボストの普及促進を行う。	0基	
紫波町	インセンティブ型	容器包装対策	町内の小学校と連携しペットボトルキャップを回収、回収量に応じて補助金を交付する。また、町内投産施設と連携し回収ペットボトルキャップを用いたリサイクル製品を作成する。	6校で取組み、960kg回収	
紫波町	インセンティブ型	リサイクル対策	集団資源回収団体に対し補助金を交付する。	98団体に交付	
紫波町	環境整備型	リサイクル対策	使用済み天ぷら油を回収しBDF（バイオディーゼル燃料）として活用を図る。	8団体で取組み、1,040リットル回収	
紫波町	環境整備型	リサイクル対策	町内のスーパー４店舗にて回収ボックスにより回収する。	5,812kg	
紫波町	環境整備型	リサイクル対策	町内の公共施設３カ所に使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収ボックスを設置し回収する。	31.10kg	
紫波町	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	ごみ減量・分別説明会開催時に３Ｒ推進について説明する。	4回、307人が参加	○
紫波町	環境整備型	全般的なごみ対策	町独自のエコ・ショップしわ認定制度を運営する。	34店舗認定	
矢巾町	情報発信型	食品ロス対策	町内飲食店に3010運動への協力要請、広報やラジオで周知活動実施	3010運動について2025年11月28日にHPで公開・周知活動実施	
矢巾町	環境整備型	古着対策	古着・古布の拠点回収（庁舎等２箇所に回収用ボックスを設置）	古着総回収量3,372kg、古布総回収量712kg	
矢巾町	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理容器・処理機の購入費に補助金を交付	補助金申請35件、総補助金交付額559千円	
矢巾町	コミュニケーション型	リユース対策	6～10月にかけて町内３カ所でリユース品を回収する催しを実施	計３回開催し、リユース品回収量600kg	
矢巾町	インセンティブ型	リサイクル対策	回収量に応じて補助金の交付	総回収量320,077kg、総補助金交付額1,231千円	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	リサイクルモアの利用促進によりごみの減量化を図る	※回収量については非公開	
矢巾町	環境整備型	小型家電対策	町内５箇所に小型家電回収ボックスの設置	町内５カ所に小型家電回収ボックスを設置し、総回収量1,010kg	
矢巾町	環境整備型	プラスチック対策	割りばしの拠点回収（庁舎等２箇所に回収用ボックスを設置）	総回収量49.7kg	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	廃食用油の拠点回収（担当課窓口にて回収）	総回収量600ℓ	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	キッチンポンジの拠点回収（担当課窓口にて回収）	総回収量4.2kg	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	歯ブラシの拠点回収（担当課窓口及び町内協力歯医者にて回収）	総回収量約4,941本	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	町内の一部地域でごみ集積所に搬入された資源ごみを福祉施設で詳細に分別のうえ資源回収事業者へ引渡し	総回収量3,294kg	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	コンタクトケース回収ボックスの設置（町内6カ所に使い捨てコンタクトレンズ空ケースを設置し、回収する）	総回収量73.36kg	
矢巾町	環境整備型	小型家電対策	小型家電宅配回収の実施（町の連携・協力業者による小型家電の宅配回収を実施する）	総回収量285.4kg	
矢巾町	環境整備型	リサイクル対策	パウチタイプゼリー飲料容器の拠点回収（公共施設１箇所に回収用ボックスを設置）	総回収量1.3kg	
矢巾町	コミュニケーション型	リサイクル対策	ごみ分別青空教室の開催。町内45地区を対象に、希望する地区へ３Ｒ運動の推進説明	14地区で開催し、452名が参加	

矢巾町	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	町内小中学校で環境に関する講義を開催（年3回程度）	町内小学校3校で開催	
矢巾町	モデリング型	一般的なごみ対策	地域のごみ減量推進員を対象に3R運動の推進説明	令和7年5月9日に開催	
滝沢・雫石環境組合	インセンティブ型	リサイクル対策	子ども会、自治会などの団体が資源回収した量に応じて、奨励金を交付します。	子ども会、自治会などの団体が資源回収した量に応じて、奨励金を交付しました。	
滝沢・雫石環境組合	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	施設見学を受け入れ、ごみ減量の啓発を図ります。	施設見学を受け入れ、ごみ減量の啓発を図りました。	
岩手・玉山環境組合	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	施設見学を受け入れ、施設概要等説明し3R等啓発を行う	施設見学の受け入れを実施した	
盛岡・紫波地区環境施設組合	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	施設一般公開や施設見学を行い、ごみ減量の啓発を図る。	施設一般公開や施設見学を行い、処理の流れやリサイクルの重要性について周知を図り、住民のごみ減量意識の向上に繋がったと考える。	
花巻市	情報発信型	食品ロス対策	市内旅館ホテル、飲食店と連携した啓発活動及び家庭での食品ロス削減に係る啓発を継続	市内旅館ホテル、飲食店と連携した啓発活動及び家庭での食品ロス削減に係る啓発を行った。	
花巻市	環境整備型	古着対策	衣類の集積所回収を継続	回収量 67トン	
花巻市	環境整備型	生ごみ対策	生ごみ集積所回収（一部地域）を継続	回収量 16トン	
花巻市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源集団回収団体への奨励金交付を継続し、資源回収の取り組みを促す	奨励金交付額 8,364千円	
花巻市	環境整備型	リユース対策	フリーマーケットの開催支援（年2回）	6月及び10月に開催されたフリーマーケットの支援を行った。	
花巻市	環境整備型	小型家電対策	家庭用小型電子機器の集積所及び窓口での回収を継続	回収量 39トン	
花巻市	環境整備型	リサイクル対策	廃食用油の集積所回収を継続	回収量 11,420リットル	
花巻市	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	市民を対象としたごみの分別・削減等についての説明会を継続	説明会 11回開催	
花巻市	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	小学4年生を対象としたごみ減量・リサイクル等に係る出前授業を継続	9校 のべ32回開催	
北上市	情報発信型	一般的なごみ対策	ごみ分別アプリの周知活動（イベント参加等）	ランフェス北上会場にブース設置 実施日：R7.10.12	
北上市	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	出前講座の実施	外国人向け出前講座 1回、市民向け出前講座 3回 計4回	
北上市	モデリング型	一般的なごみ対策	クリーン活動（9月～10月）	北上市公衆衛生組合連合会と合同で実施 実施日：R7.10.4	
遠野市	環境整備型	古着対策	新型コロナウイルス感染症のまん延等の理由により中止していた衣類等古着・古布の回収を今年度から再開した。	令和7年4月から再開・実施し、年間12tを回収・売り払いを行った。中止以前の収集可能内容と変わったため、想定よりも少量となった。	
遠野市	インセンティブ型	生ごみ対策	例年通り継続して生ごみ処理機、生ごみ処理容器等の購入費用の一部を助成。今年度から生ごみの発酵促進剤等購入に対しても購入費用の一部の助成を開始する。	生ごみ処理容器5件・生ごみ処理機15件・発酵促進剤4件に購入費の助成を行った。	
遠野市	インセンティブ型	リサイクル対策	自治会、PTA等により資源集団回収し、買取業者への売払い量に応じて奨励金を交付する	市内の自治会等33団体が資源集団回収を実施し、約145tを回収・売り払いを行った。	
遠野市	環境整備型	容器包装対策	プラスチック製容器包装の分別収集	大きな混乱もなく収集ができていますが、製品プラスチック（容器包装以外のもの）の混入も一部に見られた。	
遠野市	環境整備型	リサイクル対策	紙ごみ等の資源ごみの分別収集	可燃ごみの中にも分別可能な紙類の混入も多いことから、更なる分別・資源化に向けて啓発を行う。	
遠野市	環境整備型	小型家電対策	回収ボックスの設置による小型家電等の回収を行う。	庁舎や地区センターなどに回収ボックスを設置して拠点回収で取り組んだ。	
遠野市	環境整備型	リサイクル対策	次年度からリチウムイオン蓄電池・リチウム電池等の拠点回収の実施に向けて準備を進める。	回収場所や回収方法を検討し、本庁舎・総合支所・不燃物処理施設での限定的拠点回収を令和8年4月から実施することとした。	
遠野市	情報発信型	一般的なごみ対策	「もえるごみ減量強化月間」における分別強化キャンペーンの実施、ごみ減量スローガン看板の設置、啓発CMの製作とケーブルテレビでの放送やSNSでの情報発信を行う。	ごみの分別・再資源化推進の記事作成やケーブルテレビでの告知、市公式SNSなどでごみ減量等の情報発信を行った。	
遠野市	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	地区自治会等での環境学習会（出前講座）、市内イベントへの出展によるごみ分別方法の普及を行う。	市内自治会・誘致企業・児童館において6回（参加者のべ約140人）の参加により環境学習会（ごみの適正分別等）を実施した。	
西和賀町	インセンティブ型	リサイクル対策	PTAや子ども会、教育振興会等で行う資源ごみの集団回収について、回収した品目の回収量に応じて奨励金を交付する。	各種団体の資源ごみの集団回収が実施され、回収した品目の回収量に応じて奨励金を交付した。	
西和賀町	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	町民を対象としたごみの正しい分け方・出し方を主とした出前講座「ごみの減量について」を、西和賀町公衆組合連合会と合同で開催する。	令和8年3月に（希望地区1地区）出前講座を行った。	
岩手中部広域行政組合	情報発信型	一般的なごみ対策	ごみ減量化PRポスターを掲示する。	ごみ減量化PRポスターを掲示し、普及啓発に努めた。	
岩手中部広域行政組合	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	施設見学及び視察を受入れた際に、ごみ減量化の取組について普及啓発する。	近隣の小学校による施設見学を受入れた際に、ごみ減量化の取組について普及啓発に努めた。	
一関市	モデリング型	海洋ごみ対策	「一関市ボイ捨てのないきれいなまちづくり推進事業」及び「海ごみゼロウィーク」の取り組みとして、市職員による庁舎施設等周辺の清掃活動を実施	R7.5.28～R7.6.4 市内8地域で実施 参加者 898名	
一関市	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ減量機器購入補助の実施	電動生ごみ処理（30,000円/基） 53件 設置型コンポスト化容器（3,000円/基） 15件 密閉型コンポスト化容器（2,000円/基） 1件	
一関市	インセンティブ型	リサイクル対策	有価物の集団回収を実施した団体に対し報償金を交付	回収量 金属類 97.95t 紙類 1,049.103t	
一関市	情報発信型	食品ロス対策	食品ロス削減に向けた啓発活動を実施	市広報紙による啓発（R7.7、R7.10） 市公式LINEによる啓発（R7.10） 古着及び使用済小型家電イベント回収時に啓発ポケットティッシュ配布 ごみ分別教室時に生ごみ水切袋配布 「残さず食べよう！30・10運動」協力店に「食材管理リスト」を設置し、利用客に配布	○
一関市	環境整備型	古着対策	古着イベント回収を実施	R7.9～R7.11 市内8地域で実施 資源化量 34.12t	
一関市	モデリング型	プラスチック対策	上記と同日同会場にてニッコー・ファインメック株式会社がプラスチック製品イベント回収を実施（一関市はイベント当日の誘導や回収、周知等を協力。）	R7.9～R7.11 市内8地域で実施 回収量 18.67t	
一関市	環境整備型	リサイクル対策	本庁・支所に回収BOXを設置し、使用済みインクカートリッジの回収を実施	インクカートリッジ再生事業者による回収 回収量 約40kg	
一関市	環境整備型	小型家電対策	使用済み小型家電イベント回収を実施	R7.9～R7.11 市内8地域で実施 資源化量 11.55t	
一関市	情報発信型	一般的なごみ対策	廃棄物の減量化・資源化を図るため、市の広報、SNSによる周知を実施	市広報紙、市公式LINEによる啓発	
一関市	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	廃棄物の減量化・資源化を図るため、分別教室を実施	自治会、老人クラブ、介護予防教室等を対象に実施 実施回数 32回、参加者数 485人	
平泉町	情報発信型	一般的なごみ対策	生ごみ排出抑制チラシの配布と広報等によるごみ全般の排出抑制の周知を行う	広報等において、清掃活動等環境整備の情報提供を行った	
平泉町	インセンティブ型	リサイクル対策	有価物の集団回収を実施した団体に助成金を交付し、ごみ排出量削減及び資源化率向上を図る	有価物の集団回収事業を実施した団体に助成金を交付し、ごみ排出量削減及び資源化率向上を推進した【実施回数3団体、13回】	
平泉町	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	町の芸術文化祭等のイベント時やひらいずみ地球温暖化対策協議会会報誌で3Rの普及啓発を行う	町の芸術文化祭のコーナー及びひらいずみ地球温暖化対策協議会会報誌にて3Rについてパネル展示等を行った【R7.11.2実施】	
平泉町	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	行政区等で実施される行事等へ講師として趣き、ごみの分別講習会を行う	行政区等で実施される行事等へ講師として趣き、ごみ分別の説明し分別に対する意識啓発を図った【計2行政区】	
一関地区広域行政組合	環境整備型	小型家電対策	【使用済み小型家電リサイクル回収事業】一関市、平泉町の公共施設に回収ボックスを設置し回収を行う。清掃センターへ持ち込まれた廃棄物からピックアップ回収を行う。	令和7年度小型家電回収実績。ボックス回収10.49t（一関市10.26t平泉町0.21t）ピックアップ回収34.83t合計45.32t回収。	
一関地区広域行政組合	環境整備型	リサイクル対策	【再生品の抽選販売】清掃センターに持ち込まれた廃棄物から、再生・再利用可能な自転車や家具などを選別し、清掃・修理したものを展示・抽選販売することで、リユースの促進と廃棄物の減量について意識啓発を図る。	令和7年度再生品抽選販売5回実施。再生品抽選販売申込数4,694件、抽選販売数682件、合計重量6,377kg、売却収入430,700円	
一関地区広域行政組合	環境整備型	リサイクル対策	【羽毛布団回収】清掃センターへ持ち込まれた廃棄物からピックアップ回収を行う。	令和7年度羽毛布団回収実績。一関清掃センター1,370kg、大東清掃センター1,530kgピックアップ回収。	
一関地区広域行政組合	環境整備型	プラスチック対策	【プラスチック製品の回収】使用済プラスチック製品再商品化事業者開拓支援事業によりニッコー・ファインメック株式会社がプラスチック製品の試験的回収を実施。清掃センターへ持ち込まれた廃棄物からピックアップ回収を行う。	令和7年度製品プラスチックピックアップ提供実績。一関清掃センター4,130kg、大東清掃センター1,690kg。	
一関地区広域行政組合	情報発信型	一般的なごみ対策	【ごみ分別アプリ】ごみ分別アプリによる充実した情報の発信により、ごみの分別や3Rの意識の向上を図る。	転入届出の際にごみ収集カレンダー配布に合わせてアプリダウンロード周知チラシを配布。ホームページによる周知。	
一関地区広域行政組合	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	【施設見学】管内の小中学校等の施設見学を受入れ、ごみ処理工程の見学、ごみの分別とごみの排出から処理までの現状を説明し、ごみの減量の啓発と3Rの普及啓発を図る。	令和7年度実績。見学団体数26件、見学人数824名。	
一関地区広域行政組合	コミュニケーション型	リサイクル対策	【リサイクル工夫教室】不用品を活用した工夫教室を体験することで、リサイクルの促進と廃棄物の減量について意識啓発を図る。	令和7年度実績。工夫室利用件数89件、利用人数615名	
奥州市	情報発信型	食品ロス対策	食品ロス削減のための普及啓発を行う。	常設および特設のフードドライブを設置し、613点を奥州市社会福祉協議会へ寄付。食品ロス削減月間にあわせて特別展示を実施。	
奥州市	環境整備型	古着対策	古着回収を実施する	全5地域でイベント回収を実施し、回収量 7,800kg。	
奥州市	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理機器購入者へ補助金を交付する。	補助金交付件数 29件 交付金額 288,000円	
奥州市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみの減量化と資源の再利用を促進するため、資源物の回収に協力した市内の団体に対し、報奨金を交付する。	報奨金交付件数 303件 交付金額 803,427円	
奥州市	環境整備型	小型家電対策	小型家電リサイクルをボックス回収にて実施する。	回収量 1,279kg	
奥州市	環境整備型	リサイクル対策	小型充電式電池リサイクルをボックス回収にて実施する。	回収量 ニカド電池 15.53kg、ニッケル電池 14.87kg、リチウムイオン電池 70.67kg	
奥州市	情報発信型	一般的なごみ対策	ごみ・資源物の正しい分別を広め、リサイクルの向上、ごみの削減等3Rの推進を図る。	自治振興会等の依頼に対しごみ・リサイクル出前講座を実施、実施回数18回。	
金ケ崎町	環境整備型	古着対策	古着回収事業を実施する。	計画とおり実施した。	○
金ケ崎町	コミュニケーション型	一般的なごみ対策	出前講座等地域におけるリサイクル教室を実施する。	計画とおり実施した。	○
金ケ崎町	環境整備型	小型家電対策	小型家電リサイクル回収事業について、町内7カ所に回収ボックスを設置するほか、宅配便を活用した回収方法を周知し、回収の推進を図る。	計画とおり実施した。	○
金ケ崎町	情報発信型	一般的なごみ対策	広報、HP、リサイクルカレンダー等で、ごみの減量及び資源化の周知啓発を行う。	計画とおり実施した。	○
奥州金ケ崎行政事務組合	情報発信型	一般的なごみ対策	組合HPによりごみの適正分別及び3Rの意識啓発を図る。	ホームページにリサイクル家具の無償提供、ごみの分別辞典を掲載し、内容の更新を行った。	

奥州金ケ崎行政事務組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	施設見学の際にごみ搬入の現状を理解してもらうと共に３Ｒの意識啓発を図る。	施設見学の際に、岩手県HPで公開されている令和５年度一般廃棄物の排出状況について等のデータを用いながら、全国、県内、奥州金ケ崎地域と地域を狭めながらごみの排出量を確認し、３Ｒ意識の啓発を行った。	
釜石市	コミュニケーション型	海洋ごみ対策	釜石海上保安部と協同で市内小学生、幼稚園児を対象とした海洋環境保全に関する授業を実施し、海洋ごみ削減啓発を行う。	実施日時：令和7年6月23日 10：30～11：00 対象者：甲東こども園、園児60名、職員	
釜石市	情報発信型	食品ロス対策	エコッキングレシピの配布または広報掲載を行い、削減を推進する。また、子供への啓発・教育として、イベント開催時に塗り絵付の啓発チラシを配布する。	未実施	
釜石市	情報発信型	食品ロス対策	「てまえどり」ポップを作成し、市内のスーパー等の食品関連業者に掲示を依頼して削減を推進する。	実施時期：令和7年5月 対象：市内スーパー8店舗	
釜石市	情報発信型	食品ロス対策	忘新年会シーズンを中心に、30・10運動を周知し、削減を図る。	庁内周知を図った。	
釜石市	情報発信型	生ごみ対策	生ごみの水切りアイデアについて広報に掲載し、削減を図る。	未実施	
釜石市	インセンティブ型	リサイクル対策	市内におけるごみ減量・リサイクルを推進するために、地域のリサイクル活動に対し奨励金を交付する。	資源物回収量：約78.2t 交付団体数：22団体、交付額：148,800円	
釜石市	環境整備型	プラスチック対策	市内8か所の生活応援センターに回収ボックスを設置し、PETボトルのリサイクルを推進する。	拠点回収量(8カ所合計)：約3.6t	
釜石市	情報発信型	プラスチック対策	広報により、プラスチックごみの分別開始・方法や、ゴミの分別・減量方法をわかりやすく周知し、ごみ減量とリサイクルについて推進する。	広報かまいし記事掲載 ・ごみカレンダー 全戸配布	
釜石市	コミュニケーション型	プラスチック対策	自然保護に対する理解、プラスチックごみ分別や3Rの推進、二酸化炭素排出量削減に対する意識の醸成を図ることを目的とし、「釜石市自然・生活環境展」を開催する。市内自然環境保護活動、ごみ減量・リサイクルの取組みの啓発及び地球温暖化対策に関するパネル展示等を実施予定。	開催日：令和7年6月7日～令和7年6月8日 開催場所：イオンタウン釜石 開催内容：ごみ関連パネル表示ほか 参加者数：215名	
釜石市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	ごみ座談会を開催し、ごみ処理の現状や排出方法、当市のごみ減量施策などを周知し、ごみ排出量の減量を推進する。	出前講座等の開催時に周知を実施 開催回数：8回	
釜石市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	市内8か所の生活応援センターを会場に、プラスチックごみ分別収集に関する出前講座を開催し、市民の分別に関する理解を醸成してごみ減量とリサイクルを推進する。	出前講座等開催回数：8回	
釜石市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	地域の環境美化の推進を図ることを目的とし、『市民一斉清掃』の日および『クリーンアップかまいし』月間を設け、町内会・自治会に地域の清掃実施を推進する。市からは、実施の際に使用するごみ袋、土のう袋等を提供する。	(春季) 市民一斉清掃日：令和7年5月24日 期間：令和7年5月24日～令和7年6月22日 参加団体等：66団体 2877人 (秋季) 市民一斉清掃日：令和7年10月11日 期間：令和7年10月11日～令和7年11月9日 参加団体等：57団体 2385人	
大船渡市	情報発信型	食品ロス対策	10月の「３Ｒ推進月間」、「食品ロス削減月間」に合わせ、地元紙に３Ｒ推進及び食品ロス削減の広告を掲載し、啓発を図る。	10月の「３Ｒ推進月間」、「食品ロス削減月間」に合わせ、地元紙に３Ｒ推進及び食品ロス削減の広告を掲載。	○
大船渡市	インセンティブ型	生ごみ対策	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機の購入補助金を交付する。	電動生ごみ処理機の購入補助金 5基	
大船渡市	環境整備型	リサイクル対策	BDF燃料としての再利用するため、市役所等で使用済み天ぷら油を回収する。	廃食用油年間回収量 851.74kg	
大船渡市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	地域団体等に対し、３Ｒやごみ削減等環境に関する出前講座を行う。	出前講座 4回	○
陸前高田市	環境整備型	古着対策	市内中学校の学生服及びカバン回収ボックスを市庁舎と保健福祉総合センター（当市社会福祉協議会内）に設置し、リペアしたものを希望者に譲渡する。	制服受け取り数は15件提供数は36件。	
陸前高田市	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理容器（コンポスト等）の購入費に対して補助金を交付する。	全19件の申請に対し、総額335,000円の補助金を交付した。※前年度と同様現金ではなく地域商品券で交付した。	
陸前高田市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみを回収した団体に対して奨励金を交付する。	全15団体の活動に対し、総額227,849円の奨励金を交付した。	
陸前高田市	環境整備型	小型家電対策	市庁舎及び清掃センターに使用済み小型家電の回収ボックスを設置し、小型家電のリサイクルを進める。	総量6,350kgの小型家電を回収し、事業者に引き渡した。	
陸前高田市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	ごみの減量化やリサイクルを推進するための講座を実施する。	前年度は3団体にごみ処理について出前講座を実施した。	
住田町	インセンティブ型	生ごみ対策	電動生ごみ処理機の購入費の補助	電動生ごみ処理機の購入補助事業を実施したが、実績は0件	
住田町	環境整備型	小型家電対策	町内2か所の回収ボックスで使用済み小型家電の回収	町内2カ所の回収ボックスで使用済み小型家電を回収。年間約347kgを回収した。	○
住田町	情報発信型	全般的なごみ対策	10月の推進月間に合わせて、町ケーブルテレビにて3R活動について告知	10月8日～10月31日の期間において、3R運動を説明する静止画告知を町ケーブルテレビにて放送。	○
住田町	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	町産業まつり会場で3R運動についてパネル展示	パネル展示を行ったことで、産業まつりの来場者延べ3,000人に対し、周知を図った。	
大槌町	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理機等購入の一部補助により、生ごみ減量を図る	補助実績2件	
大槌町	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみ回収に協力した団体に対し報奨金を交付する	資源ごみ回収の協力団体実績なし。	
大槌町	情報発信型	全般的なごみ対策	町広報誌等による3R活動の周知	町広報紙での啓発並びにホームページへの掲載を実施	
岩手沿岸南部広域環境組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	施設の視察、見学を受入れ、施設の概要及び循環型社会の必要性についての啓発を図る。	・施設の視察、社会科見学受入れ及び施設見学会を実施し、施設の概要及び循環型社会の必要性についての啓発を図った。 (視察 4件 30人、社会科見学22件 520人、施設見学会 167人)	
大船渡地区環境衛生組合	インセンティブ型	リサイクル対策	資源の有効活用及びごみの減量化に資することを目的に、資源ごみの集団回収を行った団体に対し、奨励金を交付する。	資源ごみの集団資源回収を行った団体に対し、奨励金を交付した。	
宮古市	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理容器の購入費の一部を補助し、生ごみの排出抑制を図る。	生ごみ処理機、コンポスト等の購入者に対し、購入費用の一部を補助した。	
宮古市	インセンティブ型	リサイクル対策	資源物を回収した団体に奨励金を交付し、資源の有効活用と、ごみ減量の意識啓発を図る。	子供会、自治会等の登録団体に資源物の回収量に応じて奨励金を交付した。	
宮古市	環境整備型	小型家電対策	市内12か所（市役所本庁舎、出張所等）に回収ボックスを設置し、使用済小型家電を回収する。	市内12か所（市役所本庁舎、出張所等）に回収ボックスを設置し、使用済小型家電を回収した。	
宮古市	情報発信型	全般的なごみ対策	市内各行政区単位に収集カレンダーを作成し、全戸に配布する。	市内各行政区単位に収集カレンダーを作成し、全戸に配布した。	
宮古市	情報発信型	全般的なごみ対策	広報誌等により、ごみの排出抑制、分別方法などを周知する。また、転入者には、転入手続き時にごみ分別辞典を配布する。	広報誌により「食品ロスの削減」及び「生ごみの水切り」、「4Rの取組」について協力をお願いした。 へ、転入手続きの際にごみ分別辞典を配布した。	
宮古市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	座学形式の出前講座により、ごみ出し、分別マナー、ごみの減量や資源化の取組等について説明し、循環型社会の促進・意識啓発を図る。	出前講座により、ごみ出しマナー・分別方法について説明し、ごみの減量や資源化の促進について意識啓発を図った。	
山田町	モデリング型	海洋ごみ対策	「ごみ0作戦」と称し、町内一斉の清掃活動を実施する。	「ごみ0作戦」と称した町内一斉の清掃活動を5月25日に実施した。	
山田町	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理容器の購入費の一部を補助し、生ごみの排出抑制を図る。	生ごみ処理容器の購入費の一部を補助し、生ごみの排出抑制を図った。 (件)	○
山田町	環境整備型	小型家電対策	町内公共施設6か所に回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収を行う。	町内公共施設6か所に回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収を実施した。	
山田町	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみの再生利用とごみ減量化を促進するため、リサイクル資源の回収を行った登録団体に対し、報奨金を交付する。	資源ごみの再生利用とごみ減量化を促進するため、リサイクル資源の回収を行った登録団体に対し、報奨金抱負を実施。（団体）	
山田町	情報発信型	全般的なごみ対策	ホームページ・チラシ・ポスターの掲示による啓発活動を行う。	チラシ・ポスターの掲示による啓発活動を実施。	
岩泉町	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ乾燥機の設置に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。	5件に対し補助金を交付した。	
岩泉町	モデリング型	リサイクル対策	リサイクル推進員が町民を戸別訪問し、分別方法等の指導を行い、資源ごみリサイクルの意識向上を図る。	計画通りに実施した。	
岩泉町	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみの再利用促進のため、町内の町内会等団体が回収した資源ごみに対して補助金を交付する。	計画通りに実施した。	
岩泉町	環境整備型	小型家電対策	町役場本庁、各支所、町民会館の7か所に小型家電リサイクル回収ボックスを設置し、再資源化を図る。	計画通りに実施した。	
岩泉町	情報発信型	全般的なごみ対策	ごみ集積所に分別方法に関する看板を設置する。	100か所の集積所に看板に設置した。	
岩泉町	情報発信型	全般的なごみ対策	ごみの出し方、分け方ポスターを全戸配布する。	計画通り全戸に配布した。	
田野畑村	インセンティブ型	リサイクル対策	資源ごみ集団回収事業奨励金の交付	資源の再使用及び再生利用を促進するとともに、ごみ減量化を図ることを目的として、資源ごみの集団回収を行った団体に対し奨励金を交付した。	
宮古地区広域行政組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	再生品展示会を5月、11月開催予定（再生品家具類の提供）	5月、11月に開催（再生品家具類の提供）	
宮古地区広域行政組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	施設見学を小学校、一般（15人程度）の対応	小学校の施設見学へ対応、一般の施設見学申込なし	
宮古地区広域行政組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	小学校や各種団体へ出前講座を行い、施設概要の説明、4Rの推進を図る。	一般の3団体に対して出前講座を実施	
宮古地区広域行政組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	4R推進、SDGs推進、環境保護推進ポスターコンクールの開催（小学生向け）	4R推進、環境保護推進ポスターコンクールを開催（表彰式は12月に開催）	
宮古地区広域行政組合	コミュニケーション型	リユース対策	フリーマーケットを年6回開催予定（4月、6月、7月、8月、9月、10月）	年6回開催（4月、6月、7月、8月、9月、10月）	
二戸市	環境整備型	食品ロス対策	NPO法人フードバンク岩手と連携して市内の公共施設3か所にフードバンクポストを設置し、フードドライブを実施する。		
二戸市	環境整備型	古着対策	二戸市環境衛生組合を通じて市内の公共施設4か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進する。		
二戸市	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理機購入に対し補助金を交付するほか、二戸市環境衛生組合を通じて、生ごみ処理機（コンポスター）の斡旋を行う。		
二戸市	インセンティブ型	リサイクル対策	子ども会、町内会等が実施する資源回収運動に対し、補助金を交付する。		
二戸市	環境整備型	リサイクル対策	地球温暖化対策地域協議会「にのへエコネット」を通じて市内8か所に廃食用油回収ボックスを設置し、バイオディーゼルの再資源化を行う。		
二戸市	情報発信型	リサイクル対策	市ホームページ及び広報誌「広報にのへ」、地域コミュニティFMにおいて、3Rに関する内容を広報し、住民へ周知を図る。		
二戸市	コミットメント型	全般的なごみ対策	日常生活で簡単にできるごみ減量化等の取り組み「にのへエコチャレンジ」を実施してごみ減量効果を見える化し、ごみ問題を身近に感じることで3Rの促進を図る。		
軽米町	インセンティブ型	生ごみ対策	コンポストまたは生ごみ処理機を購入した住民へ補助金を交付する。	コンポストまたは生ごみ処理機を購入した住民へ補助金を交付した。	

軽米町	環境整備型	小型家電対策	庁舎に小型家電回収ボックスを設置し、再資源化を推進する。	小型家電回収ボックスを設置し、再資源化を図った。	
軽米町	情報発信型	全般的なごみ対策	家庭ごみの分け方・出し方の冊子を全世帯に配布し、ごみの減量化やリサイクルについての普及啓発を図る。	家庭ごみの分け方・出し方の冊子を全世帯に配布し、ごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を図った。	
一戸町	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理機購入者へ補助金を交付する。また、町衛生班連合会を通じて生ごみの自家処理容器の斡旋補助を行う。	生ごみ処理機購入者へ補助金を交付(2件)したほか、町衛生班連合会を通じて生ごみの自家処理容器の斡旋補助(10件)を行った。	
一戸町	環境整備型	生ごみ対策	モデル町内会にて生ごみの消滅型処理槽を活用	モデル町内会にて生ごみの消滅型処理槽を活用し、生ごみの減量に努めた。	
一戸町	インセンティブ型	リサイクル対策	子ども会、町内会等が実施する資源回収を資源回収補助金にて支援	子ども会、町内会等が実施する資源回収に補助金を交付した。(36団体が参加、113,840kg回収)	
一戸町	環境整備型	リサイクル対策	ボックス・ピックアップ回収を実施	ボックス・ピックアップ回収を実施した。(総回収量 2,397kg)	
一戸町	環境整備型	リサイクル対策	自動回収機「ecomо」による古紙回収	自動回収機「ecomо」による古紙回収を行った。(総回収量 34,146kg)	
九戸村	インセンティブ型	生ごみ対策	生ごみ処理機等購入費助成	7件 68,900円助成	
二戸地区広域行政事務組合	情報発信型	全般的なごみ対策	組合広報誌により、ごみの適正分別及び3R運動の呼びかけを行う。	組合広報誌にて、注射器や注射針の廃棄方法について周知を行った。	
二戸地区広域行政事務組合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	施設見学の受け入れ時、ごみの適正分別及び減量化への啓発を図る。	二戸管内の小学校11校から、合計198名の見学を受け入れ、ごみの適正分別及び減量化への啓発を図った。	
久慈市	インセンティブ型	生ごみ対策	コンポスター購入費用の一部補助により、生ごみ排出の抑制を図る。	コンポスター購入費用の一部補助を行い、燃えるごみとして排出される生ごみの量の抑制を図った。	
久慈市	情報発信型	古着対策	広報等により古着電を資源物として回収するための周知・啓発を実施する。	市ホームページに記事を掲載し資源物回収について周知を行ったほか、これらの取り組みを記載したごみ分別ガイドブックの配布を前年度に引き続き行った。	
久慈市	情報発信型	小型家電対策	広報等により小型家電を資源物として回収するための周知・啓発を実施する。	市ホームページに記事を掲載し資源物回収について周知を行ったほか、これらの取り組みを記載したごみ分別ガイドブックの配布を前年度に引き続き行った。	
久慈市	インセンティブ型	リサイクル対策	地域団体が実施する資源物の集団回収事業に要する経費に対して、回収量に応じた補助金を交付する。	町内会等の団体が実施した資源物集団回収に対し補助金を交付し回収の促進を図った。	
久慈市	情報発信型	全般的なごみ対策	6月の環境月間に合わせて、市内のごみ処理量やごみの削減方法等について周知し、意識の高揚を図る。	市の広報によりごみ処理量やごみの削減方法等について掲載、周知を行った。	
久慈市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	久慈地方産業まつりにて環境に関するブースを設置し、啓発物品の配布や参加型分別体験等を通して3Rの促進を図る。	第53回久慈地方産業まつりにおいて、分別体験を実施し、参加者に啓発物品やチラシ等を配布した。	
久慈市	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	町内会等の要望に応じてごみ分別説明会を実施する。	町内会等の要望に応じごみ分別説明会を実施した。令和7年度の実績は4件計133名(まちづくり直送便、環境学習講座)であった。	
洋野町	環境整備型	古着対策	庁舎2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進する。	概ね計画どおりであるが、下着類、その他のごみなどの回収できない物が混入していた事例があり、周知徹底を図り適正な再生利用を図っていきたい。	
洋野町	環境整備型	小型家電対策	庁舎2か所に使用済み小型家電回収ボックスを設置し、回収・リサイクルを推進する。	概ね計画どおり。回収ボックスに入らない家電は置き場を設置し、回収・リサイクルの推進を図った。	
洋野町	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	家庭ごみの分け方・出し方について、各地区の要望に応じて説明会を開催し、ごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を行う(随時)	説明会の開催やごみ分別ハンドブックを配布し、分別意識の高揚を図った。	
普代村	インセンティブ型	生ごみ対策	コンポストまたは生ごみ処理機を購入した住民へ補助金を交付する。	生ごみ処理機を購入した住民へ補助金を交付した。(2件)	
普代村	環境整備型	古着対策	庁舎に古着回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	庁舎に古着回収ボックスを設置し、リサイクルを推進した。	
普代村	インセンティブ型	リサイクル対策	資源回収活動を行った各地区団体に対して活動助成金を交付する。	資源回収活動を行った4団体に活動助成金を交付した。	
普代村	環境整備型	小型家電対策	庁舎に小型家電回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	庁舎に小型家電回収ボックスを設置し、リサイクルを推進した。	
野田村	モデリング型	海洋ごみ対策	十府ヶ浦海岸等にて、関係団体と協働でごみ拾いを実施する。	悪天候により中止した	
野田村	情報発信型	食品ロス対策	広報、HP、村ごみ分別ガイドブック等で、食品ロス削減のための普及啓発を行う。	広報、HP、ごみ分別ガイドブック等で、食品ロス削減のための普及活動を行った。	
野田村	環境整備型	古着対策	古着回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	古着回収ボックスを活用したリサイクルを実施した。	
野田村	インセンティブ型	生ごみ対策	村衛生班連合会を通じて、生ごみ処理機等購入費補助事業を実施する。	生ごみ処理機を購入した12名に対して購入費を補助した。	
野田村	インセンティブ型	リサイクル対策	地域住民組織等の回収実績に応じて奨励金を交付する。	地区等でリサイクル資源の集団回収を行った7団体に対し、業者に引き渡した実績に応じて奨励金を交付した。	
野田村	環境整備型	リサイクル対策	資源回収ステーションを活用し、ごみの減量化・資源化を図る。	資源回収ステーションを活用したリサイクル資源の回収及び資源化を実施した。	
野田村	環境整備型	小型家電対策	小型家電回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	小型家電回収ボックスを活用したリサイクルを実施した。	
久慈広域連合	コミュニケーション型	全般的なごみ対策	施設概要、現状の説明及び3R啓発(説明パネルやごみの出し方ガイドブックをもとに口頭で説明)を行う。	管内小学校や団体の施設見学を受け入れ、ごみ処理の現状説明と3Rの啓発を行った。	
久慈広域連合	環境整備型	リサイクル対策	庁舎に回収ボックスを設置して、リサイクルを推進する。	庁舎に小型家電リサイクルの回収ボックスを設置しており、リサイクルの推進を行った。	